2025 年度 授業計画(シラバス)

2020 平度 投来計画(27/17/)					
学 科	視能訓練士学科3年制	科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	生理光学実習Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	46 (2) 時間(単位)
対象学年	2年	学期	前期 月曜1限	教室名	1002教室·7階実習室
担当教員	森 優佑				
実務経験と その関連資格	視能訓練士として眼科一般検査に従事	した。			

《授業科目における学習内容》

屈折検査である検影法、クロスシリンダーによる乱視矯正検査の原理・手技について学び習得します。また屈折矯正方法にも様々な方法があり、 その全ての方法について学びます。

《成績評価の方法と基準》

学期末定期試験(100点満点)の80% 平常点(授業内における小テスト)20%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

視能学第3版 理解を深めよう視力検査屈折検査 屈折異常とその矯正改定第7版

《授業外における学習方法》

図解眼科検査法

毎時間の復習をして授業に出席して下さい。小テストと記載している授業では小テストを実施します。

《履修に当たっての留意点》

検影法を習得することは現場において有利となります。またクロスシリンダー法の理論をしっかりと理解し、1年次に学んだ乱視表とクロスシリンダー法を患者の状態に応じて使い分けることができるように頑張りましょう。

	む自む体態に応じて戻す。力けることができるように関係するしょう。				
授業の 方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	授業を 通じての 到達目標	検影法の手技について説明できる	屈折異常とその矯正 生理光学Ⅱのノート	検影法の理論・特徴・手技の復習	
	各コマに おける 授業予定	検影法の理論・特徴・手技について			
第	授業を 通じての 到達目標	コンタクトレンズの分類について述べることができる 小児への視力検査	おみなみなった	コンタクトレンズの分類について復習	
2	各コマに おける 授業予定	涙液レンズの計算ができる コンタクトレンズの基礎 小児への視力検査方法を述べることができる	視能学第3版 屈折異常とその矯正		
第	授業を 通じての 到達目標	眼鏡レンズの光学的特徴について述べることができる 屈折矯正の手段を説明できる	視能学第3版 屈折異常とその矯正	眼鏡レンズの光学的特徴について 復習 レンズメーター測定法について復 習	
3 回	おける	小テスト 眼鏡レンズの基礎 乱視表を使用した視力検査の復習			
第	授業を 通じての 到達目標	遠近両用レンズの構造を理解できる	理解を深めよう視力	前回授業復習	
4	各コマに おける 授業予定	遠近両用レンズの特徴を述べることができる 近用加入度数について理解できる	検査屈折検査 屈折異常とその矯正		
第 5 回	授業を 通じての 到達目標	眼鏡合わせについて理解できる	理解を深めよう視力 検査屈折検査 屈折異常とその矯正	前回授業復習	
	各コマにおける授業予定	眼鏡合わせの手順について理解できる			

授業の 方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	授業を 通じての 到達目標	Prenticeの法則を用いた計算ができる 眼鏡の眼に対する矯正効果を用いた計算ができる		Prenticeの計算方法について復習 屈折矯正効果の計算について復 習
6 回	各コマに おける 授業予定	Prenticeの法則について 屈折矯正原理、眼鏡の眼に対する矯正効果について	視能学第3版	
第	授業を 通じての 到達目標	屈折矯正手術の種類について述べることができる 屈折矯正の経過を網膜図で記載することができる	屈折異常とその矯正	屈折矯正手術について復習 網膜図の復習
7 回	各コマに おける 授業予定	小テスト 屈折矯正手術について 1年次の復習 (スタームのコノイド図・レンズ式・スコア図・明視域、乱視表)	1年次の配布プリント 図解眼科検査法	
第	授業を 通じての 到達目標	クロスシリンダーを用いた乱視の検出までの手順を述べることができる	図解眼科検査法	クロスシリンダーを用いた手順(乱 視の検出まで)の復習
8	各コマに おける 授業予定	小テスト 屈折矯正検査法(クロスシリンダー)の原理・手技の乱視の検出まで	理解を深めよう視力 検査屈折検査	
第	授業を 通じての 到達目標	クロスシリンダーを用いた手順を全て述べることができる	図解眼科検査法	クロスシリンダーを用いた手順の復 習
9 回	各コマに おける 授業予定	小テスト 屈折矯正検査法(クロスシリンダー)の実際の使い方 近見視力検査	理解を深めよう視力 検査屈折検査	
第	授業を 通じての 到達目標	クロスシリンダーを用いた屈折矯正を教科書を見ながらできる	理解を深めよう視力	実施した検査についてレポートを 書いておくこと
10 回	各コマに おける 授業予定	屈折矯正、レンズメーター、近見視力①	検査屈折検査 図解眼科検査法	
第	授業を 通じての 到達目標	クロスシリンダーを用いた屈折矯正を教科書を見ながらできる	理解を深めよう視力	実施した検査についてレポートを 書いておくこと
11 回	各コマに おける 授業予定	屈折矯正、レンズメーター、近見視力②	検査屈折検査 図解眼科検査法	
第	授業を 通じての 到達目標	クロスシリンダーを用いた屈折矯正ができる	理解を深めよう視力	実施した検査についてレポートを 書いておくこと
12 回	各コマに おける 授業予定	屈折矯正、レンズメーター、近見視力③	検査屈折検査 図解眼科検査法	
第	授業を 通じての 到達目標	クロスシリンダーを用いた屈折矯正ができる	理解を深めよう視力	実施した検査についてレポートを 書いておくこと
13 回	各コマに おける 授業予定	屈折矯正、レンズメーター、近見視力④	検査屈折検査 図解眼科検査法	
第	授業を 通じての 到達目標	クロスシリンダーを用いた屈折矯正を教科書を見ながらできる	理解を深めよう視力	実施した検査についてレポートを 書いておくこと
14 □	各コマに おける 授業予定	屈折矯正、レンズメーター、近見視力⑤	検査屈折検査 図解眼科検査法	
第	授業を 通じての 到達目標	クロスシリンダーを用いた屈折矯正を教科書を見ながらできる	理解を深めよう視力	実施した検査についてレポートを 書いておくこと
15 回	各コマにおける授業予定	屈折矯正、レンズメーター、近見視力⑥	検査屈折検査 図解眼科検査法	

2025 年度 授業計画(シラバス)

2020 中皮 技术们自(2)2000						
学	科	視能訓練士学科3年制	科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目	名	生理光学実習Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	46 (2) 時間(単位)
対象章	学 年	2年	学期	前期 月曜1限	教室名	1002教室•7階実習室
担当	教 員	森 優佑				
実務経その関連	験と 連資格	視能訓練士として眼科一般検査に従事	した。			

《授業科目における学習内容》

屈折検査である検影法、クロスシリンダーによる乱視矯正検査の原理・手技について学び習得します。また屈折矯正方法にも様々な方法があり、 その全ての方法について学びます。

《成績評価の方法と基準》

学期末定期試験(100点満点)の80% 平常点(授業内における小テスト)20%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

視能学第3版 理解を深めよう視力検査屈折検査 屈折異常とその矯正改定第7版

図解眼科検査法

《授業外における学習方法》

毎時間の復習をして授業に出席して下さい。小テストと記載している授業では小テストを実施します。

《履修に当たっての留意点》

検影法を習得することは現場において有利となります。またクロスシリンダー法の理論をしっかりと理解し、1年次に学んだ乱視表とクロスシリンダー法 を患者の状態に応じて使い分けることができるように頑張りましょう。

授業の 方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	授業を 通じての 到達目標	クロスシリンダーを用いた屈折矯正を教科書を見ながらできる	理解を深めよう視力	実施した検査についてレポートを 書いておくこと
16 回	各コマに おける 授業予定	屈折矯正、レンズメーター、近見視力⑦	検査屈折検査 図解眼科検査法	
第	授業を 通じての 到達目標	履修範囲の内容で理解できていない部分に気づくことができる		総復習
17 回	各コマに おける 授業予定	総復習 シミュレーション問題	特になし	
第	授業を 通じての 到達目標	オルソケラトロジーについて理解できる		
18 回	各コマに おける 授業予定	オルソケラトロジーの特徴・対象について説明ができる	視能学第3版	
第	授業を 通じての 到達目標	オルソケラトロジーについて理解できる		
19 回	各コマに おける 授業予定	オルソケラトロジーの特徴・対象について説明ができる	視能学第3版	
第 20 回	授業を 通じての 到達目標	コンタクトレンズ処方実習	理解を深めよう視力	
	各コマに おける 授業予定	コンタクトレンズ合わせが出来るようになる	検査屈折検査 屈折異常とその矯正	

授業の 方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	授業を 通じての 到達目標	コンタクトレンズ処方実習	理解を深めよう視力	
21 回	各コマに おける 授業予定	コンタクトレンズ合わせが出来るようになる	検査屈折検査 屈折異常とその矯正	
第	授業を 通じての 到達目標	コンタクトレンズ処方実習	理解を深めよう視力	
22 回	各コマに おける 授業予定	コンタクトレンズ合わせが出来るようになる	検査屈折検査 屈折異常とその矯正	
第	授業を 通じての 到達目標	コンタクトレンズ処方実習	理解を深めよう視力	
23 回	各コマに おける 授業予定	コンタクトレンズ合わせが出来るようになる	検査屈折検査 屈折異常とその矯正	
第	授業を 通じての 到達目標			
24 回	各コマに おける 授業予定			
第	授業を 通じての 到達目標			
25 回	各コマに おける 授業予定			
第	授業を 通じての 到達目標			
26 回	各コマに おける 授業予定			
第	授業を 通じての 到達目標			
27 回	各コマにおける授業予定			
第	授業を 通じての 到達目標			
28 回	各コマに おける 授業予定			
第	授業を 通じての 到達目標			
29 回	各コマに おける 授業予定			
第	授業を 通じての 到達目標			
30 回	各コマに おける 授業予定			